



地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES –
BRIDGING CONTINENTS

国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日／1990.2.27
事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
会長:水谷善博 幹事:延秀恵 会報委員長:内田正

2011年5月31日 第999回例会(第998号)

○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「それでこそロータリー」

「次年度クラブ協議会」

司会 橋 本 豊 次年度幹事

○○ 次回例会のお知らせ(6月7日) ○○

「1,000回記念例会」

前回〔5月24日〕例会記録

会長の時間

水谷会長

皆様こんにちは。今日は江戸時代中期の元禄から享保時代に生き、武士道ならぬ「商人道」を説いた石田梅巖(1685~1744)について話します。

近代経済学の祖と云われる、アダム・スミスの「国富論(1776)」の37年前に「都鄙問答(1739)」に書いています。当時「土農工商」の封建社会に、憎むべきものとされた商人の営利活動を積極的に認め、勤勉と僕約を奨励しました。梅岩は、龜岡の農家に生れ11歳の頃から、京都の呉服屋に奉公し「自分とは何か。人間はいかに生きるべきか」など真剣に考えるようになり、書物を読み、勉学にいそしみ45歳の時、儒教や仏教、日本古来の神道を取り入れ、「石門心学」の講座を開いています。

商人が 仁(他人を思いやる)

義(人としての正しい心)

礼(相手を敬う心)

智(智恵を商品に生かす心)

出席報告

北村(康)委員

【5月24日】

在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)
出席会員 30名(内出席規定適用免除者 4名)
ホームクラブ出席率 85.71%

4月26日のMUを含む出席率 94.44%

の4つの心を備えれば、お客様の信用・信頼を得て、商売は益々繁盛するのだと説いています。

「売物には念を入れる」高品質

「少しも粗相せずに売り渡す」優れたサービスの提供

「是まで一貫目の入用を七百匁にて賄い、是まで一貫目ありし利益を九百匁あるようにすべし」コスト低減

「お客様満足」

「利益は人々の世の中に貢献した報酬である」

「富の主は天下の人々なり」慈善活動、災害被害救済、人道支援

「人は一人勝ちでは生きてゆけない」共生

「天命に合って福を得る」自然の摂理をもとに幸せを得る

250余年前に「眞の商人は、さきも立ち、われも立つことを思うなり」お客様に喜んで納得して買ってもらおうとする心を持って、品物には常に心を込

関西大学RAC例会出席担当

6月13日(月)

Dグループ 成松、新井、内田各会員

6月23日(木)

Dグループ 速見、北村(雅)、北村(康)各会員

会場：中央体育館 図書資料室

時間：19:00~20:00

私達は他人(ひと)を思いやり 奉仕の理想のもと 地域社会へ貢献するよう 努めます

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

めて気を配り、売買することで経済原則にふさわしい利潤を得るようすれば「福を得て、万人の心を案ずることが出来る」と梅岩は断言しました。

現代において経営の神様と云われた松下幸之助は、「一生懸命に仕事をしたあとに、利益はついてくる」と言うのが口ぐせだったと聞きます。大丸の創業者の下村翁も「先義後利」という格言を残しています。

幹事報告

延 幹 事

6月7日(火)、1,000回記念例会の出欠表を回覧します。食事の準備がありますのでご都合をお知らせ下さい。

次年度幹事報告

橋 本 次年度幹事

例年通り、会員名簿作成しますので、変更の有無を確認後、6月14日までに全会員提出して下さい。

次年度地区社会奉仕委員長会議の案内

日時：7月9日(土) 14:00～16:00

場所：大阪Y M C A会館 903号室

山崎次年度委員長よろしくお願ひします。

ニコニコ箱

北村(康)会員 誕生日もめでたくもなし。

成 松 会 員 結婚記念日のお花有難うございました。

庄 瀬 会 員 本日の卓話よろしくお願ひします。

寺 井 会 員 欠席のお詫び。

内 田 会 員 結婚記念日のお花有難うございました。

本日分 24,000円

累 計 1,309,000円

卓 話

「2011～2012年度 会長方針」

庄 瀬 寛 次年度会長

「吹田江坂ロータリークラブとは、志を同じうする者が相集い、奉仕の理想のため、人・物・情報のネットワーク造りに、日夜研鑽している仲間である」これが、吹田江坂ロータリークラブに対して、私がずっと持ち続けている理念です。

次年度会長に就任させていただくに当たり、クラブの運営を次のように考えています。

クラブ運営

例会は楽しく学べる場所でなくてはならないと考えます。例会に出席することにより自らがロータリークラブに所属していることを再認識して、さらにそこから生み出す親睦の輪、そして楽しく出来る

奉仕活動、その奉仕活動をすることにより、新たな問題点を発見することが大切です。

親睦活動委員会、プログラム委員会、S A A はいっそうの連携を深めて、充実した卓話により、毎週の例会が「出席したくなる例会」を目指していただきます。

奉仕活動

職業奉仕はロータリーの基本です。クラブの会員に職業奉仕の精神をさらに身につけてもらうような活動をお願いします。

社会・青少年奉仕は地域社会と密着した奉仕活動の充実をお願いします。

ローターアクトには青少年に対する奉仕活動により、次世代を担う若者を育てるという役割を果たします。ぜひ次年度の夏の「少年少女ニコニコキャンプ」を成功させたいと思います。

国際奉仕の財団と米山では地区目標の寄付をお願いします。

広報

会員増強はクラブにとって不可欠なものです。地区方針によるブランド広報に基づき、増強特別委員会と連携しながら、クラブの会員全体に喚起してもらうような活動をお願いします。

ロータリー情報は、クラブ会員の情報源という役割も担っていただき、中堅やベテラン会員にも、ロータリーの新しい情報を提供していただきます。

記録広報はホームページの充実、特にタイムリーな情報の発信に力をそそいでいただきます。

クラブ目標の唱和

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

6月度卓話予定

	卓話担当者	卓話内容
第1週 6/7 1,000回		「1,000回記念例会」
第2週 6/14 1,001回	赤尾次年度クラブ運営委員長 杉本次年度奉仕活動委員長 田中次年度広報委員長	「次年度方針発表」
第3週 6/21 1,002回	堀田クラブ運営委員長 大井奉仕活動委員長 新井広報委員長	「今年度事業報告」
第4週 6/28 1,002回	水谷善博会長	「今年度事業報告」